

小田桐 淳司 東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所長に聞く

北上川流域にある四十四田、御所、田瀬、湯田、胆沢の5大ダムを管理している北上川ダム統合管理事務所の所長に小田桐淳司氏が就任した。北上川上流ダム再生事業として四十四田ダムの堤体嵩上げと御所ダムの操作方法の変更により、洪水調節機能の増強を図るほか、維持管理、環境整備を担当している。小田桐所長に事業の取り組みなどを伺った。

就任の抱負をお願いします

小田桐 入省し採用となったのが、ここ北上川ダム統合管理事務所です。今回、事務所長という立場で再び勤務することになり、非常に身が引き締まる思いです。いろいろ思い出のある事務所で、当時は5大ダム(四十四田ダム、御所ダム、田瀬ダム、湯田ダム、石淵ダム)の管理だけでしたが、現在はダム再生事業やハイブリッドダムの取り組みなど、やはり時代とともに事務所の業務も多様化してきていますと改めて感じています。周辺自治体にあいさつ回りを行った際、地域の期待も大きいことから着実に事業を進めていきたいと思っています。

ダム再生事業について伺います

小田桐 四十四田ダムの堤体嵩上げについては、引き続き調査設計を進めます。地質調査や模型実験などの結果を踏まえ、さらに設計精度を高め、施工計画の検討などを進めていきます。四十四田ダムの嵩上げで難しいのはコンクリートとアース

フィルの複合ダムとなっていることです。嵩上げ自体の事例はありますが、複合ダムを嵩上げた事例は全国的にも見当たらず、そういう意味ではより詳細な技術的検討が必要となります。研究機関とも協議を重ね、今まで積み上げてきたことを活かしながら前に進んでいきたいと思っています。また、環境影響評価の手続きもスタートしていますので、着実に進めていきます。

ダム管理については

小田桐 来年、田瀬ダムが竣工から70年、湯田ダムは60年と歴史がすごくあり、田瀬ダムは全国の国管理ダムの中でも2番目に古い部類になります。土木学会の選奨土木遺産にも認定されるなど、地域に貢献してきましたが、課題として思っているのが、老朽化も進んでいることです。岩手県内の北上川では、流域の4割以上を5大ダムの流域が占め、北上川流域にとって重要な役割を担っています。流域の安全を確保する上で、歴史ある施設を適切に管理していくために費用の平準化を図りながら、どうやって維持管理していくのか。今の設備の状況を見ながら計画を立てて更新・改修を進めてい



四十四田ダム再生事業完了イメージ

かなければなりません。今後、数十年ぐらいのプランで長寿命化計画を立てて平準化しながら進めていきたいと思います。また、ダム湖を活用した地域活性化は、各市町村、地域の期待が大きい部分です。例えば、胆沢ダムでは奥州市とモンベルが協定を結び、交流人口の拡大に向け話を進めていますので、事務所としても連携しながら活性化に取り組んでいければと考えています。胆沢ダムではカヌー、湯田ダムでは貯砂ダムなどを活用し、人を呼び込む施策にも取り組んでいきたいと思っています。この他にも四十四田ダムは、ゴムボート下りのスタート地点でもあるほか、さくらまつりの開催やダム下流側でキャンプを行ったりしていますので、親しみのあるダムになり地域活性化に少しでも役立てればと思います。

今後の取り組みについては

小田桐 東日本大震災や令和元年東日本台風というどちらも非常に大きな災害を経験し、その復旧に関わりました。事前防災も含めしっかりとした対応を講じることが大切だと実感しました。流域治水を進める中で、ダムは水を貯め、下流地域の安全を確保する重要な役割を担っています。ダム再生を進めながら地域の安全を向上させるために、これまでの災害対応の経験を活かし取り組んでいきたいと思います。またダム管理は見えづらい部分もありますから、地域に少しでも情報発信、見える化をしながら、ツイッターなどを利用し情報を提供しています。情報発信をすることで地域の方々の理解が深まり、何かあった時でも協力し合える関係が構築されれば良いなと思っています。



胆沢ダム全景

仕事をしていく上でのモットーは

小田桐 何事も楽しく前向きに捉え、どのような仕事もやっつけようと思っています。大変に感じることも今後、何かに役に立つという思いで、行うようにしています。就任時、職員には時代のニーズ、多様化している業務にしっかり応えられるように取り組むことはもちろん、できるだけ効率化を図りながら地域の期待に応えられるよう、また、ダム管理の見える化も進めていきたいと思います。

建設業界へのメッセージをお願いします

小田桐 業界全体として週休2日制やICT技術の活用など、働き方改革に取り組んでいます。当事務所でもDXを活用し、業務の効率化に向けた取り組みを進めています。魅力的で、やりがいのある建設業界となるよう一緒に取り組んでいければと思っています。

ありがとうございました



略歴

小田桐 淳司(おだぎり あつし)

- 1968年生まれ 青森県弘前市出身
- 1987年 建設省入省(東北地方建設局北上川ダム統合管理事務所)
- 2010年 国土交通省河川局防災課改良計画係長
- 2011年 国土交通省水管理・国土保全局防災課審査係長
- 2012年 東北地方整備局仙台河川国道事務所工務第一課長
- 2015年 東北地方整備局建設部都市・住宅整備課建設専門官
- 2017年 東北地方整備局河川部河川計画課建設専門官
- 2021年 国土交通省水管理・国土保全局治水課課長補佐
- 2023年 東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所長

国土交通省 発注者支援業務等を通じ
"美しきふるさと東北"の発展に寄与いたします。

株式会社 岩手パブリック
代表取締役 佐藤 慶亀

本社/〒020-0114 盛岡市高松2-14-28
TEL.019(601)7305
営業所/宮古・秋田
http://www.ipublic.co.jp/

それは 未来に残すものづくり

株式会社 小原建設
代表取締役会長 小原 志朗
代表取締役社長 小原 学

本社/岩手県北上市村崎野15地割312番地8
TEL.0197(66)3125 FAX.0197(66)5438
西和賀営業所/岩手県和賀郡西和賀町清水ヶ野18-3-7
TEL.0197(84)2142

Sincerely, Speedy, and best Solution.
独自技術で未来を育むベストソリューションを提供します。

川崎地質株式会社
総合建設コンサルタント
執行役員北日本支社長 菅野 孝美
盛岡営業所 落合 利行

北日本支社 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡三丁目4番16号
TEL.022(792)6330 FAX.022(792)6331
盛岡営業所 〒020-0024 盛岡市栗園1-3-6-1005
TEL.019(613)6091 FAX.019(613)6092

環境安全とICT推進の総合建設業

KUDO KENSETSU

工藤建設株式会社 | 代表取締役社長 峰谷剛司 |
岩手県奥州市水沢真城字北館38-1 | ☎0197-23-4642

一技術と信頼で地域社会に貢献する一
特定建設業

栗原建設株式会社
代表取締役 千葉 裕之

〒023-0841 岩手県奥州市水沢真城字南塩加羅68番地1
TEL.0197(24)1403 FAX.0197(24)1402

電気設備 電気通信設備 消防設備 全般設計施工管理

SHINKO 新興電気株式会社
代表取締役会長 谷上 淳
代表取締役社長 谷上 健太

盛岡市青山三丁目15番1号
TEL.019(645)2222 FAX.019(645)2223

新日本工営株式会社
SNK
代表取締役 小林 和雄

本社/〒025-0036 岩手県花巻市中根子字堂前4番地1
TEL.0198(23)5095 FAX.0198(23)1150

DTS
Daiwa Technical Service
株式会社 **ダイワ技術サービス**

代表取締役 小川 稔

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪一丁目8-3
TEL.022(298)9113 FAX.022(296)3448
URL https://www.d-ts.jp

高度な技術で郷土の振興に奉仕

株式会社 東開技術
測量 建設コンサルタント
補償コンサルタント GIS(地理情報システム)

代表取締役 鈴木 誠弥

本社/〒023-0025 岩手県奥州市水沢字高網33番地
TEL.0197(24)1311 FAX.0197(23)2817

その仕事は、
岩手の風景になる。

Kizuku 樋下建設株式会社
TOISHITA

代表取締役 樋下 光

明るい未来を創造する技術集団

南部電気工事株式会社
代表取締役社長 太田 喜直

本社/〒024-0052 岩手県北上市大堤北一丁目2番1号
TEL.0197(67)5252 FAX.0197(67)5326
営業所/一関

地域の未来を設計する 総合建設コンサルタント

株式会社 吉田測量設計
取締役会長 吉田 久夫
代表取締役 吉田 直人

本社/〒020-0861 岩手県盛岡市仙北一丁目3番13号
TEL.019(635)1740 FAX.019(635)1747
支店/宮古・一関・釜石・北上・水沢・花巻・仙台・秋田・東京
営業所/二戸・久慈・大船渡・山形・神奈川